

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

滋賀県地域セミナー 報告書

2019（令和元）年7月5日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」滋賀県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方10名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年7月5日（金）14時00分～16時20分

会場：滋賀県大津合同庁舎 6D

主催：滋賀県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：10名

プログラム：

14:00～14:10 開会挨拶

滋賀県教育委員会事務局 保健体育課

参事 兼 学校体育係長 小田 隆司 氏

14:10～14:30 講義Ⅰ「オリンピック・パラリンピック教育について」

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

研究員 岡田 悠佑 氏

14:30～14:50 事業説明

滋賀県教育委員会事務局 保健体育課 学校体育係

主査 奥村 源 氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40 講義Ⅱ「学校におけるオリパラ教育の指導法について」

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

研究員 岡田 悠佑 氏

15:40～16:20 情報交換

16:20～16:30 閉会挨拶

開会行事では、滋賀県教育委員会事務局保健体育課の小田氏より、ご挨拶をいただきました。今年度で2年目を迎える滋賀県では、本事業を通して、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高めるとともに、大会後の滋賀県におけるレガシーを残すべく、少しでも子どもたちのためになる実践を実施してほしい、と滋賀県でのオリンピック・パラリンピック教育の推進への抱負を述べられました。

続いて、本センターの岡田研究員より「オリンピック・パラリンピック教育について」というテーマで、本事業の背景やこれまでの取り組みを中心とした内容の講義が行われました。



小田氏の挨拶



岡田研究員の講義

次に、滋賀県教育委員会事務局の保健体育課の奥村氏より、滋賀県におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進についての説明がありました。滋賀県では、「アスリート招聘事業」と「特別支援学校における運動機会の充実促進事業」の 2 つの取り組みを軸に事業を展開していく計画です。「アスリート招聘事業」は、アスリートを学校に招聘して、競技を続ける中で経験してきたことについてお話いただくことで、チャレンジや努力を尊ぶ態度などを学習する機会とする取り組みで、今年度は、小学校 2 校、中学校 2 校、高等学校 1 校の計 5 校が取り組みます。「特別支援学校における運動機会の充実促進事業」は、普段あまり運動機会の少ない特別支援学校の児童・生徒に対して、新たなスポーツ種目（パラスポーツ等）を体験する機会を設けることで、運動習慣の確立を図る取り組みで、今年度は、5 つの特別支援学校が取り組みます。加えて、事業の推進に関する書類や「東京 2020 教育プログラム」への参画について等の説明がありました。

その後、再び本センターの岡田研究員より、これまでの実践例や教材紹介が行われました。アスリートの講演の際に質問タイムを設けることやメダル等の「モノ」を介した交流等、児童・生徒がアスリートを身近に感じることができるような工夫について紹介されました。また、授業と関連づけた取り組みに関しては、学校種ごとに体育科・保健体育科や社会科等の教科と関連づけた実践が紹介されました。さらに、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'mPOSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）等のオリンピック・パラリンピック教育用教材も紹介されました。

最後に、推進校の担当者同士で情報交換会が行われ、今後の推進方法や進捗状況等について議論が行われました。「アスリート招聘事業」に取り組む学校のグループは、アスリートの招聘に向けた事前学習としての取り組みの工夫や実際にアスリートが学校に来る際の準備等について意見交換が行われました。また、「特別支援学校における運動機会の充実促進事業」に取り組む学校のグループは、各学校の児童・生徒の実状と本事業を通して重点的に取り組みたいスポーツ種目等について意見交換が行われました。



奥村氏の講義



会場の様子